

次号予告

特集 海外へ行こう!

米国OR事情とORから学んだこと.....伊倉義郎((株)サイテック・ジャパン)
カルテックで培ったもの.....山田雄二(筑波大学)
ケンブリッジ大学における研究プロジェクトへの参加
.....流王智子・柴田宗典・羽田明生((公財)鉄道総合技術研究所)
他流試合のすすめ.....福田公明(チューリッヒ工科大学)

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orjs.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●鉄道を代表としてわが国の交通インフラは世界的に見てもソフト・ハードいずれの面でも充実しています。しかし、交通インフラ全般に関わるトラブルはニュースで目にすることが多く、私も年に1度は遭遇している気がします。先日、車で帰省するために首都圏の某海底トンネルを利用しました。目的地まで100 kmもなく普段通りであれば90分で到着できるはずでしたが、4倍の6時間もかかってしまいました。車内には重たい空気が流れる一方、私一人だけ混雑の原因やその対策に思いを巡らせ、意外と満喫できました(これも日々ORに携わっているおかげ? かもしれません)。
●今回は「鉄道利用者視点のOR」をテーマとしてお届けしました。鉄道の定時運行や利用者の不満・不便

低減のための対策、経路選択に関わる手法やビックデータの活用方法など話題は多岐にわたり、鉄道インフラにおけるORの重要性を改めて感じることができたと思います。

●わが国を訪れる外国人の観光客数は年々増加しており、東京オリンピック・パラリンピック開催国としての注目も手伝ってか、今後も増加傾向は続いていくものと予想されます。このような状況下で各方面のインフラ整備について準備万端かと思いきや、メイン会場の建設計画の見直しや、首都高の老朽化に伴う整備の必要性など、問題はまだまだ出てきそうです。わが国の資源(時間、労働力、資金、資材など)には限りがあり、今後もORへの期待は大きくなることでしょう。(佐久間 大)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文(筑波大学)
特集担当編集委員 佐藤 圭介(公益財団法人鉄道総合技術研究所)
委員 池辺 淑子(東京理科大学)、石井 儀光(国立研究開発法人建築研究所)、鶴飼 孝盛(東海大学)、小林 隆史(東京工業大学)、坂本 英夫(株式会社東芝)、佐久間 大(防衛大学校)、笹谷 俊徳(東京ガス株式会社)、佐藤 圭介(公益財団法人鉄道総合技術研究所)、高野 祐一(専修大学)、中原 孝信(専修大学)、生田目 崇(中央大学)、蓮池 隆(早稲田大学)、原田 耕平(株式会社NTTデータ数理システム)、吉住 貴幸(日本アイ・ピー・エム株式会社 東京基礎研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成27年10月号 第60巻 第10号 通巻658号

代表者 大宮 英明

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社(Tel 03-3546-1337)へ。